4. 令和7年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】
○新しい価値と可能性を追求する教育を実践し、多様性を尊重し自立できる子どもを育てる。

【学校 目標】
○評価のあり方を見直しながら、主体的・対話的で深い学びのある授業づくりを実践し、自ら考え行動する子どもを育てる。

【現状と課題】
○視点1 生徒が学ぶことに興味をもち、自己のキャリア形成を見据えて、一人ひとりが個に応じて主体的に学びを進めることができるか。
○視点2 生徒が互いに認め合い、協働して学びを進めることができているか。
○視点3 校内研究を柱にして、教職員が組織的・系統的により良い授業づくりを目指すことができているか。また、その成果が子どもたちの学びに生かされているか。

取組事項および評価指標

※評価：【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目：9月 2回目：2月】

※達成状況の割合(%)は、目標数値に対しての達成状況の割合です。

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
①「めあて」のある授業づくりと生徒が自らの学習を振り返る場の充実を図る。	①「めあて」を明確に提示する（目標100%実施）		
	①学習の振り返りの場を充実させる（生徒アンケートで調査 目標100%）		

【視点2】学びを支え合う集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
①ペアワーク、グループワーク等を通じた対話的な学びのある授業づくりを目指す。 ②特別活動や道徳等を通じて互いに認め合う支持的風土の醸成を図る。	①授業の中で友達と協力しながら学ぶことができている（生徒アンケートで調査 肯定的な回答目標100%）		
	②教室が安心して学べる場所になっている（生徒アンケートで調査 肯定的な回答目標100%）		

【視点3】協働して取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目評価	2回目評価
①校内研修を通して、目指すべき授業づくりについて教員間で共通理解をするとともに、授業力向上を図る。 ②教科担当間で協議を重ね、生徒のより良い学びにつながる評価の充実を図る。	①校内研究主催で授業研究会を実施する（年間1回）		
	②対話的な活動についての研修会を実施する（夏季研修）		
	③教員による相互授業参観週間を設ける（年間3回）		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- ・4月の職員会議にて、学校長が教育目標や学校経営等について提示し、実現に向けた具体的な方策について発信する。
- ・「我が校の学ぶ力向上策」について、1学期の職員会議で教員に提示し、全体で共通理解を図る。校内研究担当と連携しながら、取組事項について実践、検証していく。
- ・全国学力・学習状況調査の結果や他のアンケートを通して、随時各取組の進捗状況について検証し、改善を図る。
- ・校内研究主任と連携しながら、各取組事項について確実に進められるよう、適切に方策を講じていく。

今年度の取組の成果と課題